

キャラクター名  
雪代 美咲 (ユキシロ ミサキ)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	16	性別	女
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	38	%
出自	疎まれる子	経験	記憶消失	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	10
精神	2	1	1			4	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識: 本	3		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
砂の刃	RC	4r+6	5	5		1&2 クリティカル値-1
砂の細刃	RC	4r+12	7	5		1&2&4 クリティカル値-1
		0				
喰らわれし贄発動後		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
私立海都高等学校の制服	
腕時計	
ネックレス	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
D:(起源種)オリジナルネグイドP		N		
猫川美亜	P 信頼	N 嫉妬		
アンティディーラ	P 感服	N 嫌気		
並木 通	P 好意	N 不安		
雪代 つばき	P 信頼	N 嫉妬		
海都	P 好意	N 無関心		
福井	P 好奇心	N 恐怖		

最大財産P: 4 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ウロボロス	1	2	メジャー			自動		
効果:	(レベル点)-クリティカル値							
原初の赤:砂の刃	3	3	メジャー	視界	-	対決		
効果:	攻撃力[Lv+2]の射撃攻撃 ガード値-5							
喰らわれし贄	3	1	オート	至近	自身	自動		
効果:	シーンの間ウロボガードに1点でもダメージを与えた場合そのシーンウロボロスフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力[Lvx3]する							
混沌なる主	3	2	メジャー	-	-	-		
効果:	原初と組み合わせて発動達成値[LvX2]							
目潰しの砂	2	3	オート	10m	単体	自動		
効果:	1Rに一度対象の直前の判定に使用ダイス[Lv+1]個減少							
原初の紫:妖精の手	2	5	オート	視界	単体	自動		
効果:	ダイス1個を10に変更[1シナリオxLV]回							
原初の黒:ジャミング	2	5	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	ダイス数-[レベル]個する。							
禁じられし業	1	3	オート	視界	単体	自動		
効果:	イージーエフェクト無効化1シナリオLv回							
まだらの紐	1	1	メジャー	視界				
効果:	影に知覚能力を持たせる							
シャドウダイバー	1	2	メジャー	至近	単体	自動		
効果:	対象の影に入り。感情を読み取る							
万能器具	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果:	日用品を作り出す							
無上の廚師	1		メジャー	至近	硬化	自動		
効果:	料理を作り出す							
効果:								

ロイス:接触予定の重要人物 推奨感情(ポジティブ/ネガティブ):任意/脅威  
 貴方は今回、海都と呼ばれる街に転属することになった。  
 理由はそこで起きている怪事件にアンティディーラが関わってる可能性が高く、  
 多くの現場に立ち会った貴方に確認して欲しいとの上層部の要望からである。  
 とりあえず貴方はカヴァーとして、その街の学校に通うことになった。  
 数日後、貴方に任務が下る。逃亡中の重要人物と接触・保護せよと・・・

白髪と両目色が違うオッドアイ。普段はウィッグとカラコンで隠してる。  
 普段はおとなしくクラスの女子と話したりしており男性友達はいないと言ってもいい。  
 オーヴァードとしての才能は高く、UGNの総合成績もトップを争うほどの実力だった。  
 彼女の力は砂を操り、それらで相手の能力を食らうという能力だ。  
 モルフェウスでも数少ない砂を操る類の者である。  
 その姿を元にコードネーム強欲の砂 (グリード・アレーナ)とゆうコードネームをいただいた。

小さい頃  
 生まれてから私は「アルピノ」とゆう異質な存在として生まれ、家族からは一線おかれてしまっていた。  
 保育園に通い始めた頃、家にも場所はなくやることもなく父親とよく図書館に連れて行ってくれる事が多くあった。  
 図書館においてある絵本などを多くみてたが興味があったのでファッション雑誌を少し読んだりしてた。  
 何を書いてあるかはわからないけど自分とは違う「黒い髪の女性」に憧れのような感情が生まれたのだ。  
 父は微笑んだ顔でいつも私の事を眺めていたと司書の人は話してくれた。  
 そうした日々が小学4年まで続いたのだ。  
 最初はごちない挨拶だったらしいが今では図書館が自分の家同然だ。